

報道発表

国登録有形文化財 旧田代家住宅を会場とする 学生作品展「りゅうりゅう展」(10/7~10/9)

江戸時代に建てられた国登録有形文化財 旧田代家住宅は、天竜川河畔に建ち、天竜川舟運による繁栄を今に伝える大型民家です。今回、静岡文化芸術大学との共同研究の一環として、本施設を会場とする学生作品展「りゅうりゅう展」を開催します。

記

1 背景

浜松市（文化財課・天竜区まちづくり推進課）と静岡文化芸術大学が協働で、旧田代家住宅を対象とした文化財建造物の教育利用および活用についての共同研究を行っています。

2 作品展について

【名称】 学生作品展「りゅうりゅう展」

【会期】 令和5年10月7日（土）から同9日（月祝）まで

【時間】 午前10時から午後4時まで

※最終日（9日）は午後2時まで。午前9時30分から公開講評会を行います。

【会場】 旧田代家住宅（天竜区二俣町鹿島489）

【内容】 静岡文化芸術大学デザイン学部デザイン学科匠領域で学ぶ3年生9名が、染、織、木漆芸などによる作品を展示します。授業の実習として、天竜川と鳥羽山の豊かな自然に囲まれた国登録有形文化財「旧田代家住宅」を展示空間に定め、場から始まる、新たな作品構想・制作、展示計画、作品展開催までを行います。

【料金】 無料

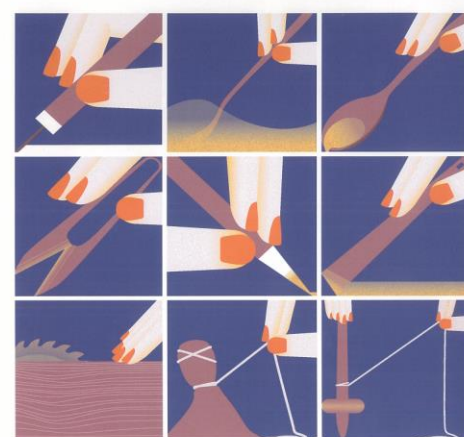
【アクセス】 ・天竜浜名湖鉄道二俣本町駅から徒歩20分

・遠鉄バス西鹿島駅乗車3分、
北鹿島下車徒歩5分

・遠州鉄道西鹿島駅から徒歩20分

*駐車場が無い場合、公共交通機関の利用にご協力をお願い致します。

【主催】 共催 静岡文化芸術大学／浜松市



静岡文化芸術大学デザイン学科 匠領域3年 作品展 りゅうりゅう展

2023.10/7(土)~10/9(月) 天竜川のそばに屹立する規模あふれた邸宅での作品展。アイデアとしてまだ小規模である学生による作品が自然の幸に存続を祈ります。染、織、木漆芸など伝統的な技法を継ぐ者たちの「興隆」や時代の「流れ」を感じながら是非ご覧ください。

共催 浜松市 / 静岡文化芸術大学  浜松市  静岡文化芸術大学
SHIZUOKA UNIVERSITY OF ART AND CULTURE

3 旧田代家住宅について

旧田代家住宅（主屋）：木造2階建、切妻造、瓦葺、建築面積233㎡、安政6年（1859）年建造。建造年代は小屋内にあった角材の墨書に記されていました。

1階は、正面右手に土間があり、その左側の6間取りの中央列前面に、身分の高い方が屋敷に入る際に用いる式台を構えています。

2階は8畳主体の座敷に床（とこ）などを備え、南面に開放的な縁があります。

舟運による繁栄を伝える大型民家であり、平成27年に国登録有形文化財に登録されました。



4 問合せ先

作品展に関すること

[りゅうりゅう展実行委員会 ryuryuten.suac2023@gmail.com](mailto:ryuryuten.suac2023@gmail.com)

静岡文化芸術大学 デザイン学科 新妻研究室 053-457-6227

アクセスに関すること

浜松市天竜区まちづくり推進課 053-922-0086

文化財に関すること

浜松市文化財課 053-457-2466

【昨年実施の様子】

